

# 都市交通分野の海外展開に向けた最近の取組みについて

国土交通省  
都市局 都市計画課 都市計画調査室  
平成28年3月



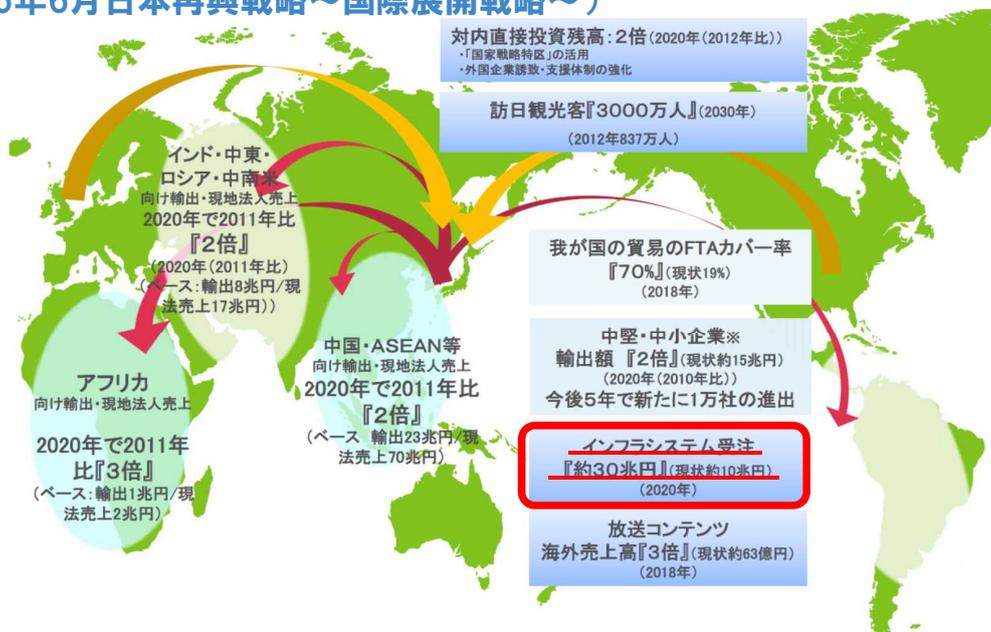
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

## インフラシステム海外展開の目標



- 日本再興戦略(平成25年6月策定、平成26年6月・平成27年6月一部改訂)において、新たな経済成長目標を設定
- 日本の「強みのある技術・ノウハウ」を最大限に活かして、2020年に「インフラシステム輸出戦略(平成27年度改訂版)」(平成27年6月2日「経協インフラ戦略会議」決定)で掲げた約30兆円(2010年:約10兆円)のインフラシステムの受注を目標とする

(平成25年6月日本再興戦略～国際展開戦略～)



※ 中堅・中小企業 - ここでは資本金100億円未満の企業

- 案件発掘・形成等から入札・工事着手に至るまでの一貫した支援
- プロジェクトの進捗に応じた効果的な支援
- JICA・民間企業等の関係機関との連携、経産省招聘事業を利用した多様な支援

Phase	路線構想	FS調査等実施(確度低)	FS調査等実施(確度高)	入札実施予定有り	入札実施
国交省	政府要人招聘セミナー実施	政府要人招聘セミナー実施 二国間対話 トップセールス	政府要人招聘セミナー実施 二国間対話 トップセールス	政府要人招聘 二国間対話 トップセールス	—
民間企業	要人招聘対応セミナー支援 現地情報収集	要人招聘対応セミナー支援 現地情報収集 FS調査協力	要人招聘対応セミナー支援 現地情報収集 FS調査協力	要人招聘対応 入札準備	入札対応 工事着手
H26年度～ H27年度 取組内容	H26.11: セブ都市交通セミナー H27.6: カンボジア国運輸省表敬(政務官対応) H27.8: ブノンペン都市交通セミナー	H26.8: スリランカ国政務官出張 H27.5: スリランカ国運輸大臣表敬(大臣対応) H27.12: スリランカ国都市局出張  H26.6: パナマ国副大臣出張 H26.9: パナマ国首相バイ会談  H26.9: インド国大臣出張	H27.2: タイ国運輸大臣表敬(大臣対応) H27.2: タイ国都市局出張 H27.12: タイ国都市局出張	—	2

官民一体となった連携により案件形成・プロジェクト受注

- 開発途上国の都市分野における技術協力に対して支援
- 専門家派遣や現地視察等において、地方公共団体、関係機関や企業の多くの方々に協力・支援を頂いている

- モンゴル国都市開発実施能力向上プロジェクト(長期・短期専門家派遣)  
ウランバートル市における都市再開発事業に関する実施能力技術移転
- ベトナム国都市計画アドバイザー(長期専門家派遣)  
ベトナム建設省による、急速な都市化に対応した総合的な判断に基づく都市計画(都市開発)事業の実施のための組織能力向上支援の実施
- JABODETABEK首都圏交通政策統合プロジェクトフェーズII  
(長期専門家派遣)  
ジャカルタ首都圏の都市交通問題改善のための業務実施方針策定の支援
- クリチバ市における土地区画整理事業実施能力強化プロジェクト  
(短期専門家派遣)  
区画整理事業を都市計画実現ツールとして活用するための制度的・技術的能力の開発支援

- アジア新興国等においては、経済発展による都市化・慢性的な交通渋滞が発生し、特に大都市部における都市交通システムの必要性が拡大
- 我が国は、公共交通システムを含む一体的な都市開発に関するノウハウを有する
- 総合的な都市計画に基づくパッケージとしての都市開発・都市交通整備を提案

## 日尼TODセミナー



日程: 2015年2月  
 場所: インドネシア国ジャカルタ  
 主催: 国土交通省、インドネシア  
 経済担当調整大臣府

概要: 公共交通と一体となった計画的な都市開発と、計画的な都市開発を実現するうえで軸となる都市交通システムについて、日本の経験・技術を紹介

## プノンペン都市交通セミナー



日程: 2015年8月  
 場所: カンボジア国プノンペン  
 主催: 国土交通省  
 後援: JICA

概要: 計画的な都市交通インフラ整備の重要性と、我が国の官民が培った都市交通に関する日本技術の紹介

## 機械式立体駐車場のPR



日程: 2015年10月  
 場所: トルコ国イスタンブール  
 出席: 国土交通省、(公社)立体  
 駐車場工業会

概要: 現地の駐車場事情を調査するとともに、イスタンブール市・イスタンブール駐車場公社を訪問し、駐車場政策に関して意見交換

4

# 都市交通システムのトップセールス①

○2015年5月、太田国土交通大臣が、MIPIM JAPANに出席されたスリランカ国バンダーラ国内交通大臣に対して、日本のモノレール技術・安全性について発言。

- 会談日: 平成27年5月20日(水)
- 主な出席者: 太田国土交通大臣  
 都市局 小関局長  
 稲葉国際統括官  
 総合政策局 平井海外プロジェクト推進課長  
 都市局 街路交通施設課 本田街路交通施設企画室長
- 表敬訪問先: スリランカ国  
 ランジット・マドゥマ・バンダーラ国内交通大臣  
 ティラカラタナ国内交通省計画次官補



バンダーラ大臣との会談

5

## 都市交通システムのトップセールス②

○2014年6月、野上国土交通副大臣が、ロイ運河担当大臣兼メトロ庁長官に対し、モノレール事業について、日本の技術と経験がパナマの発展に役立つ旨を発言。

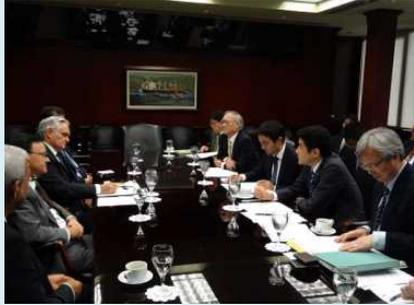
○出張期間：平成26年6月23日（月）～29日（日）

○出張先：パナマ国

○主な出張者：野上国土交通副大臣

都市局 街路交通施設課 本田街路交通施設企画室長

○主な表敬訪問先：ロイ運河担当大臣兼メトロ庁長官



○2016年1月、「パナマ市における質の高いインフラの導入に関する協力覚書」の署名  
1) パナマメトロ3号線事業の実施に日本の質の高い技術を活用することで一致  
2) 質の高いモノレールの車両及びシステムの導入が必要との見解を共有  
3) パナマ政府が日本政府に対して3号線事業の事業監理等に係る技術協力を要請し、日本政府がこれを検討するとの意図を表明

6

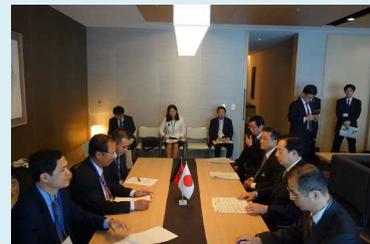
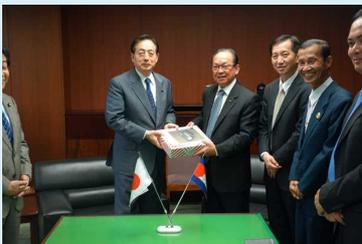
## 都市交通システムのトップセールス③

○カンボジア国

平成27年4月28日（火） 太田国土交通大臣が、イム・チュンリム上級大臣兼国土整備・都市化・建設大臣と会談

平成27年6月11日（木） 青木国土交通大臣政務官が、トイ・チャンコサル公共事業運輸省副大臣と会談

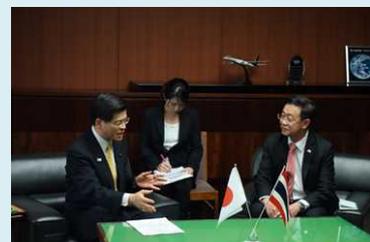
平成27年7月20日（月） 太田国土交通大臣が、トラム・イウテック公共事業運輸大臣と会談



○タイ国

平成27年11月26日（木）

石井国土交通大臣が、アーコム運輸大臣と会談



7

○ケニア国  
平成27年3月13日(木)  
ケニヤッタ大統領がゆりかもめ試乗



ゆりかもめ試乗

○カンボジア国  
平成27年4月28日(火)  
イム・チュンリム上級大臣兼国土整備・都市化・建設大臣がゆりかもめ試乗



ゆりかもめ試乗

○スリランカ国  
平成27年5月21日(木)  
バンダーラ国内交通大臣が  
東京モノレール試乗・多摩モノレール視察



東京モノレール試乗



多摩モノレール整備工場視察

## 海外展開戦略検討に向けた現地調査

### 背景

- アジア新興国の大都市部等で慢性化する渋滞・無秩序な都市開発の進行
- 我が国が有するTOD開発のノウハウ・公共交通システム開発技術等の展開可能性
- これまでセミナー・トップセールス・JICA調査等を実施してきた新興国の都市交通及び公共交通システム整備に係る最新状況確認の必要性

### 目的

- 直近のヒアリングや文献調査を元に、都市交通システムの整備に意欲的な新興国及び対象都市を選定の上、現地調査を実施し、先方政府のニーズ・都市交通の現状・公共交通システム整備状況を把握すること。

### 現地調査実施概要

- 日時・場所 平成27年11月30日(月)～12月11日(金)
- 渡航先 ①タイ国バンコク都、及び②スリランカ国コロンボ都市圏
- 相手国訪問先 ①タイ国:OPT(運輸省-運輸交通政策企画室)、NESDB(国家経済社会開発庁)、SRT(タイ国有鉄道)、BMCL(バンコクメトロ公社)、BTSC(タイBTSグループ・ホールディングス)、MRTA(タイ高速道路交通公社)、SEPO(タイ国営企業政策局)  
②スリランカ国:RDA(道路開発庁)、UDA(都市開発庁)、CMC(コロンボ市役所)、MMWD(西部メガポリス開発省)、MOT(運輸省)

# ①タイ国バンコク都の現状及び課題



バンコク都の渋滞状況(マッカサン駅付近)

- ピンクライン・イエローラインがモノレールを想定して入札準備中である。
- 同入札方式は、ライダーシップリスクを含めて民間企業がリスクを負う割合の高い「PPP Net Cost方式」の採用が検討されている。
- TODの理解は徐々に浸透してきているものの、官側の人材不足や、法的規制により、民間企業が収益施設建設を前提として土地収用ができない等、様々な理由で駅前広場の建設を含むTODの具現化は芳しくない状況である。

# ②スリランカ国コロombo都市圏の現状及び課題



郊外主要路線分岐点の交通状況(マラベ付近)

- 2015年1月に発足した現政権下で中央省庁の大規模な再編成が行われた。コロombo都市圏を含む西部州の開発を一手に所管する「西部メガポリス開発省 (Ministry of Megapolis and Western Development)」が組成された。新たな西部州の開発計画(メガポリス構想)を策定。
- JICA調査「コロombo都市交通調査プロジェクト(H26.8)」により提案されているモノレール路線が現在も検討されているが、建設費の高さや上記新計画との整合等要、再検討課題も多い。

# 駅周辺開発・沿線開発

## 駅周辺開発・沿線開発と一体となった交通システムの海外展開



マレーシア・シンガポール間高速鉄道計画



ムンバイ・アーメダバード間高速鉄道計画

# MIPIM JAPANの開催

## MIPIM(※1)とは

- 毎年フランス・カンヌで3月に開催されているリードミデム社(※2)主催の世界最大級の国際不動産見本市。2015年開催には約22,000名が参加。
- 投資家・デベロッパー・設計会社・メーカー・自治体等が一堂に会し、商談・大規模開発の情報収集・新規マーケットの発掘・シティセールス等を行う。
- 2015年5月20・21日には「MIPIM JAPAN」を東京で初めて開催。世界30ヶ国から約2,500名が参加。

※1 Marche International des Professionnels de l'Immobilier の略称

※2 不動産投資の他、音楽著作権や映像コンテンツの売買等民間ベースの市場を対象に国際的イベントを主催・運営する仏国・パリを拠点とする会社。

## MIPIM JAPAN – ASIA PACIFIC 2016の開催概要(予定)

- 日時 平成28年 9月8日(木)・9日(金)
- 場所 グランフロント大阪 コングレコンベンションセンター
- 主催 MIPIM JAPAN 2016 実行委員会 (リード・ミデム社 他)
- 企画・開催協力(予定): 大阪市
- 後援 国土交通省・京都市・神戸市 他
- テーマ MODEL CITY & LIFESTYLE OF THE FUTURE  
~ HEALTHCARE / SMART CITY / TOURISM
- 内容 ブース設置・展示 / 基調講演 / カンファレンスの開催  
ネットワーキングイベント 他
- 出展者・参加者 日本・アジア諸国など世界各国の自治体・不動産会社  
投資マネジメント会社 他
- 実施目的
  - ①日本の都市への海外からの企業立地を進める「シティセールス」
  - ②アジア太平洋地域の都市開発・不動産の情報発信拠点としての「MICE」
  - ③ 日本への投資につなげる「インバウンド」
  - ④ 日本の都市開発技術・ノウハウの海外展開を進める「アウトバウンド」



MIPIM 2015 (Cannes)メインエントランス



(参考) MIPIM JAPAN 2015